

社会資本総合整備計画

JR芦原温泉駅周辺地区(3期)都市再生整備計画

平成 26 年 3 月 27 日

福 井 県 あ わ ら 市

(参考様式2)

社会資本総合整備計画

平成26年1月15日

| | | | |
|-------|--|------|------|
| 計画の名称 | JR芦原温泉駅周辺地区(3期)都市再生整備計画 | | |
| 計画の期間 | 平成26年度～平成30年度(5年間) | 交付団体 | あわら市 |
| 計画の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 結節点機能の強化 ・ 安心で安全な人にやさしい道路の整備 ・ 地域内のコミュニティ活動の促進 | | |

| | | | |
|------------------|----------------------------------|--|--|
| 計画の成果目標(アウトカム指標) | J R 芦原温泉駅乗降客数、定住人口数、地域コミュニティ参加人数 | | |
|------------------|----------------------------------|--|--|

| アウトカム指標の定義及び算定式 | アウトカム指標の現況値及び目標値 | | | 備考 |
|---------------------------------------|------------------|-------|--------------|----|
| | 当初現況値 | 中間目標値 | 最終目標値 | |
| JR芦原温泉駅乗降客数 地区内に位置するJR芦原温泉駅の年間乗降客数 | H24 3,536 | | H30 3,550 | |
| 定住人口 本地区内に住居する人口 | H24 8,462 | | H30 8,000 | |
| 地域コミュニティ活動回数 まちづくり協議会等の参加人数 | H24 109 | | H30 200 | |

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------------|---|--------------|---|----------|---|----------|-------------------------------|------|
| 全体事業費 | 合計 (A + B + C) | 1,119 百万円 | A | 1,119 百万円 | B | 0 百万円 | C | 0 百万円 | 効果促進事業費の割合 C / (A + B + C) | 0.0% |
|-------|-------------------|--------------|---|--------------|---|----------|---|----------|-------------------------------|------|

交付対象事業

| A 都市再生整備計画事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|------|------|------|----------|----------|----------|----------|-----------|---------------------------|------------------|------|------------|-----|-----|-----|-----|----------------|-------|--|
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付団体 | 直接 間接 | 事業 主体 | 道路 種別 | 省略 工種 | 率 (基本) | 要素事業名 | 事業内容 (延長・面積等) | 市町村名 | 事業実施期間(年度) | | | | | 全体事業費 (百万円) | 備考 | |
| | | | | | | | | | | | | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | | | |
| A1 | 都市再生 | 一般 | あわら市 | 直接 | あわら市 | | | 0.4 | JR芦原温泉駅周辺地区(3期)都市再生整備計画事業 | 290.0ha | あわら市 | | | | | | | 1,119 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1,119 | | |

| B 関連社会資本整備事業 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| なし | | | | | | | | | | | | | |

| C 効果促進事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|------|------|----------|----------|----------|-----------|-------|------------------|------|------------|-----|-----|-----|-----|----------------|----|--|--|
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付団体 | 直接 間接 | 事業 主体 | 省略 工種 | 率 (基本) | 要素事業名 | 事業内容 (延長・面積等) | 市町村名 | 事業実施期間(年度) | | | | | 全体事業費 (百万円) | 備考 | | |
| | | | | | | | | | | | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | | | | |
| | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | | |

| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | | | | | | | | | | | | | | | 備考 |
|----|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

| その他関連する事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------|------|----------|------|--------------------|------------------|------|------------|-----|-----|-----|-----|----------------|----|--|
| 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接 間接 | 事業者 | 要素となる事業名 (事業箇所) | 事業内容 (延長・面積等) | 市町村名 | 事業実施期間(年度) | | | | | 全体事業費 (百万円) | 備考 | |
| | | | | | | | | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | | | |
| 計画 | 一般 | あわら市 | 直接 | あわら市 | ふるさと創造プロジェクト事業 | 施設・道路 | あわら市 | | | | | | | 20 | |

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: JR芦原温泉駅周辺地区(3期) 都市再生整備計画

事業主体名: あわら市

チェック欄

| . 目標の妥当性 | |
|------------------------------------|---|
| 都市再生基本方針との適合等 | |
| 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 | ✓ |
| 2) 上位計画等と整合性が確保されている。 | ✓ |
| 地域の課題への対応 | |
| 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。 | ✓ |
| 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い | ✓ |
| . 計画の効果・効率性 | |
| 目標と事業内容の整合性等 | |
| 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ✓ |
| 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ✓ |
| 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | ✓ |
| 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。 | ✓ |
| 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。 | ✓ |
| 事業の効果 | |
| 1) 十分な事業効果が確認されている。 | ✓ |
| 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。 | ✓ |
| . 計画の実現可能性 | |
| 地元の熱意 | |
| 1) まちづくりに向けた機運がある。 | ✓ |
| 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。 | ✓ |
| 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。 | ✓ |
| 円滑な事業執行の環境 | |
| 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ✓ |
| 2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。 | ✓ |
| 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。 | ✓ |

都市再生整備計画

あわらおんせんえきしゅうへんちく
JR芦原温泉駅周辺地区(3期)

福井県 あわら市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

| | | | | | | | |
|-------|---------------------|------|---------------------|-----|--------------------|----|--------|
| 都道府県名 | 福井県 | 市町村名 | あわら市 | 地区名 | あわら市 芦原温泉駅周辺地区(3期) | 面積 | 280 ha |
| 計画期間 | 平成 26 年度 ~ 平成 30 年度 | 交付期間 | 平成 26 年度 ~ 平成 30 年度 | | | | |

目標

- 大目標 将来の北陸新幹線芦原温泉駅の現駅併設を見据え、定住環境の向上を図りながら駅周辺の活力あるまちづくりを進める。
- 目標1 結節点機能の強化
- 目標2 安心で安全な人にやさしい街・道路の整備
- 目標3 地域内のコミュニティ活動の促進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本市においては、合併により広い行政圏と2つの市街地を有し豊かで魅力的な自然資源や歴史資源を共有の財産とすることができるようになり、地域資源、人的資源の面において都市の可能性が高まっている。

金津市街地は、商業者の高齢化、後継者不足の影響で資本投資が少なく、結果として店舗の老朽化や空き店舗が増加し、中心市街地の空洞化、活力の低下が生じている。

一方、北陸新幹線の開設は金津市街地の活性化の契機であり、また、学生や高齢者など自動車を利用しない人の都市機能へのアクセスの改善や環境に配慮した交通整備、歴史文化等の地域資源の活性による集積度の高い再開発、若い世代が住み生み育てていくまちづくりに取り組み、中心市街地の活性化とコミュニティなどの再構築を図る。

本地区は、「生活者が暮らしを営むまちの顔」と「来訪者が金津祭りや近隣の旅行で立ち寄るまちの顔」があり、その背景には、朝倉氏に仕えた溝江氏による金津城や金津奉行所、竹田川の水運を生業とした時代性、宿場町として本陣跡りでもてなした歴史文化が脈々と流れており、その中に現在の街並みが成り立っている。

しかしながら、JR芦原温泉駅前も他の地区と同様に、少子高齢化やモータリゼーションなど社会情勢の中で、まちの活力も徐々に低下し、シャッターを降ろしたままの商店や閉店する店も増え、長年にわたって寂れた印象が強く、街なかに点在する自然や歴史文化の魅力を生かす景観や街並みに至っていない。

そこで、本来、この地域が持っている歴史・自治の資源に光を充て、磨き、つなぎ、補完することにより、買い物や散歩など日常の動きを生み出すことが衰退に歯止めをかける第一歩となる視点から、地域に根付いた観光のまちづくりも視野にいれ、竹田川や白山を借景とした風景の保全・活用、本陣跡りや神社・仏閣のPR、花と緑の美しい空間形成など、暮らしを営むまちづくりを進める事で、暮らしを営むまちとしてのポテンシャルを上げ、その結果、来訪者にとっても魅力あるまちづくりを進めたいと考えている。

・地区の中心に位置する芦原温泉駅が、平成17年度から整備新幹線建設推進高度化等事業による駅部調査の対象となったことから、新幹線への市民の期待が高まり、駅周辺整備の基本計画に基づき事業を着手することになった。

事業化にあたっては、全体の事業費が多額になることや事業期間も長期にわたる事、また、当駅は在来線の駅に併設されることなどを考慮し、第1期事業では、在来線の駅にも対応した事業を優先して、平成19年度～21年度の3箇年でまちづくり交付金事業を展開してきた。ここでは、鉄道利用者への利便性を図り、そのことで地域の活性化を図るため、駅周辺に点在していた低未利用地を活用した東西の駐車場整備や、交通ターミナル機能の強化を図るため、西口アクセス道路の一部の区間整備を行った。また、引き続き第2期事業として、平成22～25年度の4年間で駅周辺の歩道整備、広場整備、西口アクセス道路の整備を行った。

また、市民が主体となった美しい景観形成による魅力ある空間作りを目指して、講演会やワークショップ、市民と行政による花と緑の実践活動等を通して、市民の自立した意識づくりとまちづくりの担い手の育成を図った。特に、公園整備においては、計画段階から市民参加のワークショップにより公園整備の基本方針を作ることで、公園を地域の活動拠点としてコミュニケーションの輪を広げることが出来た。

・北陸新幹線の整備のスピードを調整しながら将来の新幹線現駅併設に対応した整備を引き続き行う。

第3期事業においても、福井県の北の玄関口である芦原温泉駅周辺の整備を進めることで、玄関口としての景観やイメージ、更には交通環境の改善に取り組みとともに、中心市街地の定住環境を向上させるため、人にやさしく景観に配慮した道路整備を進めることで、安心で安全な暮らしが享受できるよう、第2期事業で高めた地域の魅力や市民のまちづくりに対する意識を更に向上させたい。

課題

- ・第1期、2期事業における道路改良、公園整備など、地域の定住環境が向上することで、市内の人口は減少しているものの、当地区内で増加している区域もある。
- ・駅周辺部において整備した東西駐車場や西口アクセス道路は、整備後、間もないことや整備区間が限られていることから、事業の目標であった鉄道利用者の減少に歯止めがかからない状況である。
- ・駅周辺部では、空き店舗が増え活力が低下していることや、街なか観光する場所も少ないことから、駅から街なかへの人の移動が見られない。
- ・住民参加型のワークショップ等を開催したことで、市民のまちづくりに対する意識の高揚が見られるが、対象の枠を広げ更に継続するためには今しばらく行政の支援が必要と思われる。

将来ビジョン(中長期)

- 交通結節点機能の強化と景観形成により中心市街地の活性化を図るまちづくり
- あわら市総合振興計画では、まちの魅力創造プロジェクトの重点施策として「新幹線開業を見据えた福井県の北の玄関口の整備」を掲げ、JR芦原温泉駅周辺の整備や大規模空地の有効活用を掲げている。
- あわら市都市計画マスタープランでは、JR芦原温泉駅周辺地区を「福井県の北の玄関口として、特色ある美しい景観形成と新たな機能導入により、活力と魅力あふれる空間を創出すること、をまちづくりの基本戦略に掲げている。
- 芦原温泉駅周辺整備基本計画では、広域圏における拠点として位置付けられ、北陸新幹線等の整備を見据え、交通結節点機能の強化と都市機能の導入を図るべき地区と位置付けがされている。

目標を定量化する指標

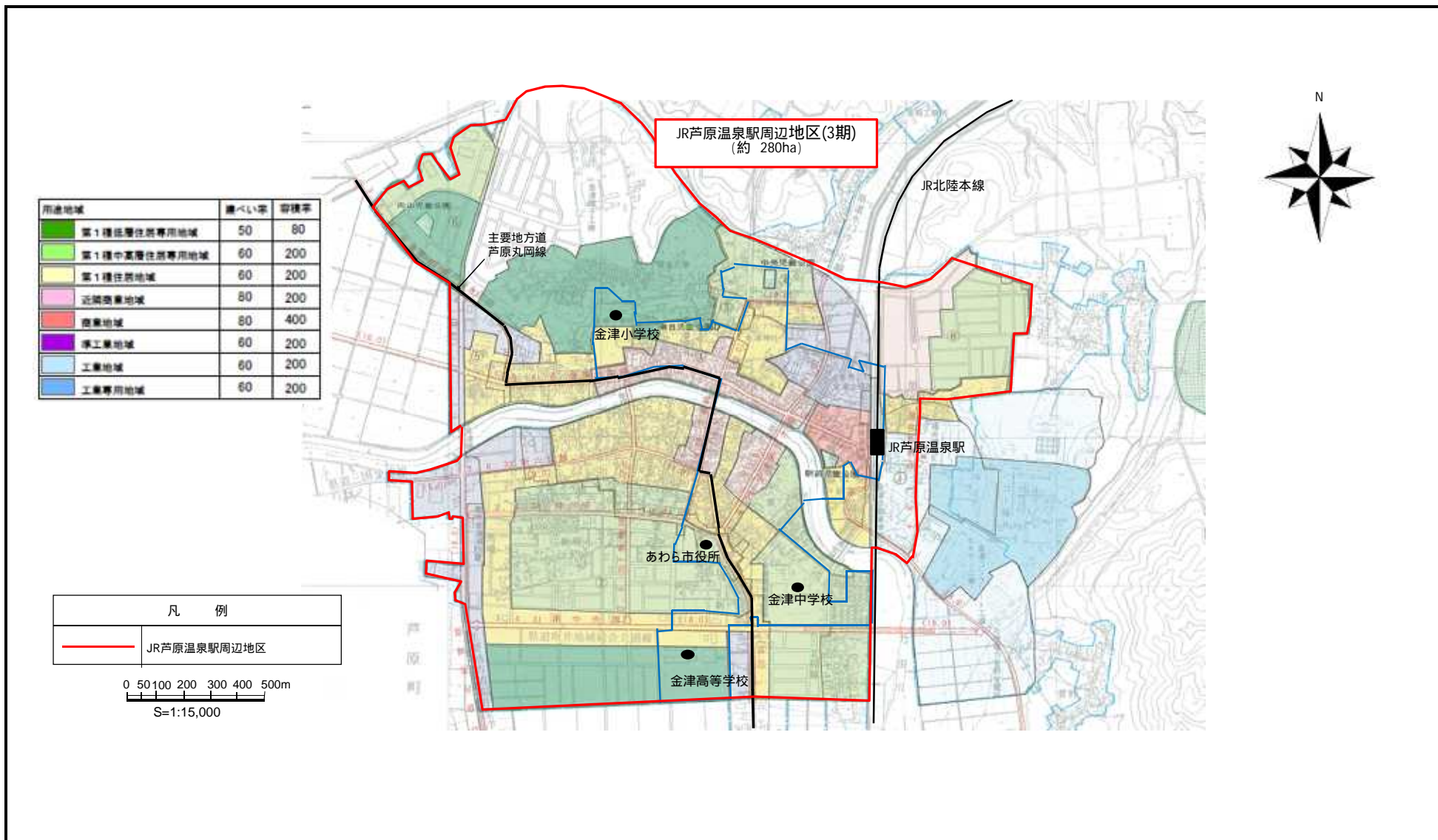
| 指 標 | 単 位 | 定 義 | 目標と指標及び目標値の関連性 | 従前値 | 目標値 | |
|--------------|-----|-----------------------------------|---|--------|------|-----|
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | |
| 乗降客数 | 人 | JR芦原温泉駅の乗降客数 | 駅周辺のアクセス道路、駅広場を整備し、結節点機能の強化を図ることで、鉄道利用者の減少に歯止めをかける。 | 3,536人 | H24 | H30 |
| 定住人口 | 人 | 本地区内に居住する人口 | 安全で安心な住環境の創造により、定住人口の減少に歯止めをかける。 | 8,462人 | H24 | H30 |
| 地域コミュニティ参加人数 | 人/年 | まちづくり協議会等の参加人数(まちづくり勉強会、ワークショップ等) | 住民参加型のまちづくりを推進することで、市民活動の支援をする。 | 109人 | H24 | H30 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針 | 方針に合致する主要な事業 |
|---|--|
| <p>[整備方針1] JR芦原温泉駅の交通結節点機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR芦原温泉駅は、福井県の北の玄関口に位置付けられるものの県道の1路線に接するだけで、市街地を連携する広域幹線道路へ通じるルートが限られている。しかし、芦原温泉等の観光地への送迎車輛が数多く駅前広場を利用しているため、駅西口から温泉街へ向かう西口アクセス道路の整備が必要である。 ・芦原温泉駅周辺整備基本計画(平成18年3月策定)において、(仮称)にぎわい交流広場内の(仮称)にぎわい交流館、また、(仮称)にぎわい街区広場を整備することで、玄関口としてふさわしいシンボル性のある顔づくりや交流拠点として人々が集い楽しむ空間を創出する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・(市道)105号線改良事業(基幹事業:道路) ・西口広場(基幹事業:高次都市施設) ・(仮称)にぎわい街区広場(基幹事業:地域生活基盤施設) |
| <p>[整備方針2] 安心して安全な人にやさしい道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の金津保育所を改修することにより、住民ニーズに応じた質の高い保育の総合的サービスを提供し、子供を産み育てやすい環境の整備を図り、若者の区域外への人口流失を防ぐ。 ・また、金津保育所、金津本陣IKOSSA、(仮称)にぎわい館を結びエリア内に歴史道整備を絡ませ、JR芦原温泉駅周辺地域の歴史文化等の資源の活用を集約し、中心市街地の活性化と統一的な整備を図る。 ・JR芦原温泉駅周辺の整備として、JRやバス利用者の利便性を増進するために人にやさしく景観に配慮したアクセス道路整備および歩道整備を図る。 ・安心して憩い・遊べる場を確保すると共に、地域防災拠点施設としての整備を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)認定金津こども園改修事業(提案事業:地域創造支援事業) ・(仮称)桜ヶ丘街区公園整備(基幹事業:公園) ・(市道)107号線改良事業(基幹事業:道路) |
| <p>[整備方針3] まちづくり活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR芦原温泉駅周辺地区内の(仮称)にぎわい館、金津本陣IKOSSA、JR芦原温泉駅等を通じるルートを歴史文化街道と位置づけて整備し、地域内の観光資源や歴史文化を発信する地域として、観光客の増加および地域のコミュニティの再構築を図る。 ・中心市街地の空洞化につながる店舗の老朽化や空き店舗の解消対策として、ふるさと創造プロジェクト事業により、チャレンジショップの誘致や金津本陣飾りの常設展示スペースの創設等、地域のワークショップにて対応策を図る。 ・金津本陣IKOSSAを利用して、チャレンジショップに対するフォローアップ研修や、若い世代の情報交換の場所とし、地域のコミュニティの充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動推進事業(提案事業:住民参加によるまちづくり活動の推進) ・ふるさと創造プロジェクト事業(関連事業) |
| <p>その他</p> <p>交付期間中の計画の管理について</p> <p>交付期間中において各種事業を円滑に進め、目標に向けて確実に成果を上げるため、住民参加型のまちづくり活動の機会に地元関係者からも多く参加いただいて、事業の進め方や目標に向かっての取組内容を検討することで、計画の進捗状況等を共有しながら計画を進める。</p> | |

都市再生整備計画の区域

| | | | | |
|--------------------------|----|--------|----|---|
| JR芦原温泉駅周辺地区(3期)(福井県あわら市) | 面積 | 280 ha | 区域 | 自由ヶ丘一丁目、自由ヶ丘二丁目、春宮一丁目、春宮二丁目、春宮三丁目、花乃杜一丁目、花乃杜二丁目、花乃杜三丁目、花乃杜四丁目、市姫一丁目、市姫二丁目、市姫三丁目、市姫四丁目、大溝一丁目、大溝二丁目、大溝三丁目 |
|--------------------------|----|--------|----|---|



JR芦原温泉駅周辺地区(3期)(福井県あわら市) 整備方針概要図

| | | | | | | | | | |
|----|------|--|--------|--------------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 目標 | 大目標 | 将来の北陸新幹線芦原温泉駅の現駅併設を見据え、定住環境の向上を図りながら駅周辺の活力あるまちづくりを進める。 | 代表的な指標 | 乗降客数 | (人/日) | 3,536 | (24年度) | 3,550 | (30年度) |
| | 目標 1 | 結節点機能の強化 | | 定住人口数 | (人) | 8,462 | (24年度) | 8,000 | (30年度) |
| | 目標 2 | 安心して安全な人にやさしい道路の整備 | | 地域コミュニティ参加人数 | (人) | 109 | (24年度) | 200 | (30年度) |
| | 目標 3 | 地域内のコミュニティ活動の促進 | | | | | | | |

提案事業：地域創造支援事業
(仮称)金津認定こども園改修
A=771m²

提案事業
まちづくり活動推進事業
(ワークショップ)

提案事業
事業活用調査事業
(事業効果分析調査)

基幹事業：地域生活基盤施設(広場)
(仮称)にぎわい街区広場
A=1,370m²

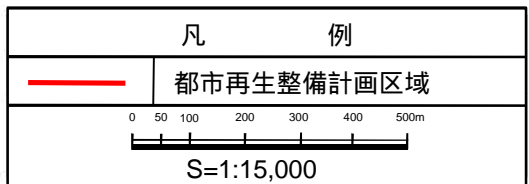
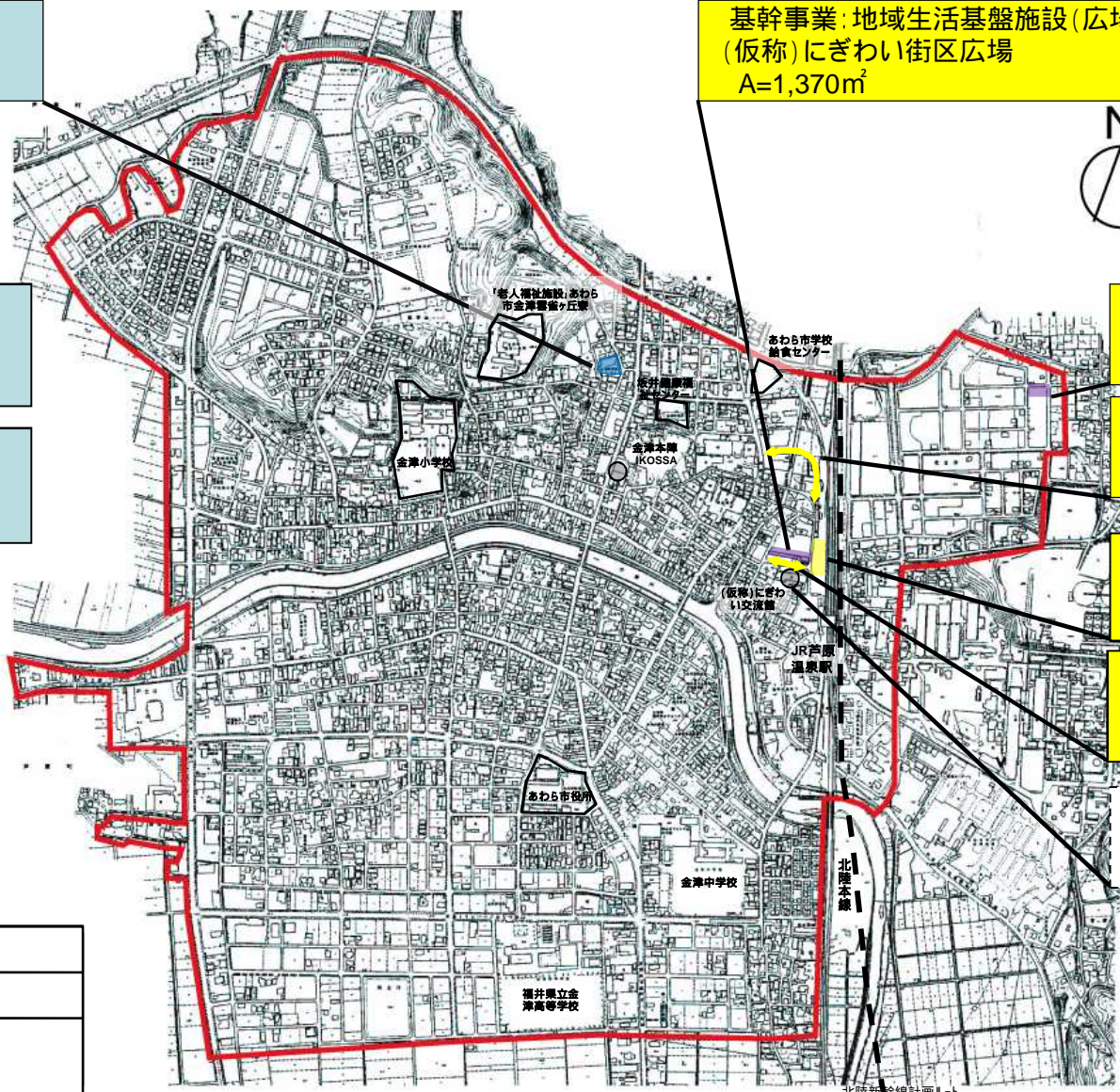
基幹事業：公園
(仮称)桜ヶ丘街区公園
A=1,800m²

基幹事業：道路(改良)
(市道)105号線改良事業
L=250m

期間事業：地域生活基盤施設(広場)
西口広場整備事業
A=2,480m²

基幹事業：道路(改良)
(市道)107号線道路改良事業
L=85m

関連事業
ふるさと創造プロジェクト事業
(仮称)にぎわい交流館整備(H26)



| 凡例 | |
|--|------|
| | 基幹事業 |
| | 提案事業 |
| | 関連事業 |